

平成27年度 都中P・中親会 合同研修会

目黒区の『まち』、『教育』について ～『住みたいまち、住み続けたいまち目黒』に向けて～

日時：平成28年2月2日（火） 研修会 16：00～17：00

場所：目黒区役所

懇親会 17：30～19：00

毎年恒例になっている区市関連施設での都中Pと中親会による合同研修会を、本年は目黒区役所で開催しました。ご多忙にもかかわらず、青木英二目黒区長から表題のテーマでご講演をいただき心より感謝申し上げます。さらに今回は、目黒区立中学校PTA連合会と目黒区立中学校長会から片柳博文先生と牛島順子先生がご参加くださいました。



目黒区長 青木英二氏

目黒区は起伏の激しい地形が特徴であり、その特徴を活かして、坂を歩いて健康になってもらおうと、「坂道ウォーキングのすすめ」（二百円）を発刊、売れ行きも順調であるとのこと。目黒と言えば「目黒のさんま」が有名ですが、目黒の坂道も有名にしたいと意気込んでいるそうです。目黒区職員からも「坂道ウォーキングのすすめ」のほうは自治体の事業で非営利目的のため利潤が上がるわけではないが他の自治体からも問い合わせがあることが嬉しいとの声があがっているとのことでした。

また、最近の変化としては近年23区中で20～23位を推移していた出生率が上昇傾向にある点です。この数字をさらに上げるためにも子育て支援に注力したいとのこと。

さらには目黒区において特別支援教育に今後も注力する旨の説明がありました。現在は東京都が指定するモデル区としてすべての公立小学校に特別支援教室を設置していますが、来年度以降、中学校にも特別支援教室設置を検討しているとのこと。実現されれば東京都の中でも先駆的な動きとなります。

青木区長による講演の後、目黒区と都中Pと中親会による合同の懇親会が催され、終始なごやかな歓談や率直な意見交換が行われました。目黒区側からは青木区長をはじめ、尾崎教育長や目黒区中P連からも岩間P連会長、滑川P連副会長、熊木顧問他多数の参加がありました。目黒区P連との歓談の中で、目黒区の中学校数(9校)と同様の区市のP連の運営方法や単Pの状況など、共通点が見いだされました。



今回の合同研修会の取り組みは都中Pが掲げている「つながろうPTA」のスローガンにも通じるものです。今後も子どもたちの幸せのため、未加盟P連とのつながりを強化していきたいと考えています。

青木区長を囲んで

都中P・中親会、

目黒区PTA連合会 集合写真

【日本 PTA 全国小・中学校広報紙コンクール表彰式】1月26日（火）

日本 PTA 全国小・中学校広報紙コンクールで奨励賞を受賞した3校の表彰を行いました。

「文林通信」
文京区立文林中学校 PTA



文林中 PTA の皆さんと都中 P 岩田会長（中央）
右から 副島 PTA 会長 丹村現広報副委員長
庄司前広報委員長 中尾現広報委員

「丘の上」
八王子市立第七中学校 PTA



會田 PTA 会長（八王子第七中 PTA）

「ほほえみ」
多摩市立多摩永山中学校 PTA



多摩永山中 PTA の桐生前広報委員長（左から2人目）と多摩市立中学校 PTA 連合会の皆さん、都中 P 岩田会長（右）
右から 五味渚都中 P 理事（諏訪中）
松井 PTA 会長（和田中）

【東京都公立中学校 PTA 協議会・中親会 平成27年度 賀詞交歓会】1月26日



八丈島小中高 PTA 連
合会沖山重彦会長

広報紙コンクール表彰の後、新年賀詞交歓会を開催しました。中親会・都中 P 関係者 45 名が集い、都中 P 岩田会長の挨拶で始まり、中親会中田会長から激励の言葉を頂戴しました。八丈島小中高 PTA 連合会沖山会長をはじめ各地区の皆様からもご挨拶の言葉と共に地区アピールをしていただき、楽しく和やかな雰囲気の中で、東京都の中学校教育への期待と展望を語り合う事ができ、有意義な懇親の場となりました。

【東京都公立学校 平成28年新年賀詞交歓会】

2月4日(木)18時より東京都庁第一本庁舎32階「グリーンハウス」にて平成28年の賀詞交歓会が、東京都公立幼小中高 PTA 連絡協議会の主催で開催されました。東京都教育庁次長 松山様をはじめ東京都教育委員会の皆様と東京都公立学校長会・園長会会長を来賓にお迎えし、加えて特別支援学校 PTA 連合会と公立高等学校定通 PTA 連合会からも参加があり、様々な立場の方とお話する機会となりました。出席者が一言ずつ自己紹介をして、各団体の垣根を越えて各々が思うまま懇談し有意義な意見交換の場となりました。また、各団体順にも挨拶を行い都中 P の挨拶の中では、岩田暁会長が「これだけの団体が一堂に会する場を設けられるなら飲食しつつの懇親も良いが、各 PTA 団体が抱える問題を本日集った教育委員会をはじめ各団体と真剣に協議検討できるような場を改めて設けたい」と語り、挨拶後も参加者それぞれ精力的に意見交換をしました。

私達 都中 P は各地区の連合会の代表の集まりですがこの多様な連携を武器に、中学生と保護者のために意見を発信していきたいと考えています。



〈都中 P 自己紹介の一コマ〉

右から 岩田会長（板橋区）
中村副会長（八王子市）新海副会長（世田谷区）
木澤会計理事（荒川区）五味渚理事（多摩市）
谷代監事（多摩市）井上顧問（杉並区）
金山顧問（八王子市）加納事務局長（町田市）
檜山総務財政委員長（足立区）

都中 P 推薦 全国学生保障援助会の学生総合保険

お子様のケガやご家族の賠償事故を24時間保障する制度です。「疾病保障プラン」と「ケガ充実補償プラン」を用意しています。扶養者が事故により亡くなられた際には育英

費用のお支払もあり、在学中に必要な補償を総合的にカバーする設計となっています。昨今話題の自転車に乗っている際に、歩行者の第三者をケガさせた場合の補償も本保険にセットされています。



連絡先：東京都公立中学校PTA協議会 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-5-2 (株)ハセベ3F
TEL:03-6806-6736 FAX:03-6806-6738 e-mail:jpta@tokyo-jpta.org 事務局：加納